

◇ 学園 彙報 (平成三年度)

◇ 図書館だより — その一 —

本学園図書館では、一人一冊献本運動を展開して、ちょうど十年目を経過いたしました。お蔭様にて献本運動の成果も上っております。本年度も同窓の各聖・各位・有縁の皆様方の献本運動のご協力を賜わり、献書数を増加させております。平素より仁心のご高配・ご厚志に対しまして、館員一同心より厚く御礼申し上げます。

平成三年度圖書寄贈者ご芳名

- 1 赤城義晋殿 『川越市史』史料編中世Ⅰ他一五冊
- 2 秋山智孝殿 『平の桜』二冊
- 3 池見 猛殿 『ボケの特効薬』十冊
- 4 イタリア東方学研究所 『THE MANUSCRIPTS OF NANATSU-DERA』一冊
- 5 一宮嘉孝殿 『現代法辞典』他五五冊
- 6 岩間日勇現下 『日蓮聖人御一代画譜』他十一冊
- 7 インナートリップ青少年センター殿 『ニューライフ・アドベンチャー 第13回全国高校生の主張』他二冊
- 8 大石要英殿 『江戸東京 風俗語事典』他十七冊
- 9 大阪経済法科大学殿 『新たな歴史の創造』
- 10 庵合行亨殿 『日蓮聖人教学の基礎』四
- 11 大森 孝殿 『三十万円相当(退職記念として)』
- 12 小崎龍雄殿 『神奈川県宗教連盟45年の歩み』
- 13 小山辰雄殿 『牛乳を飲むとガンになる?』三冊他四冊
- 14 海外新聞普及株式会社殿 『Revista de Estudios Bud-istas』
- 15 科学技術教育協会殿 『産業の心を未来に伝えるシリーズ』第2巻
- 16 神奈川県立金沢文庫殿 『中世台所事情—中世の街・鎌倉』
- 17 川島本良殿 『十万円相当』
- 18 河野明子殿 『ごんごんしぼりの』
- 19 北川前登殿 『闘法一途』
- 20 国際仏教研究所殿 『国際シンポジウム(仏教と自然)』
- 21 児島鍊戒殿 『原色牧野植物大図鑑』他五冊
- 22 坂本 静殿 『法華経』上・中・下
- 23 佐野次丸殿 『流れゆく灯よ』
- 24 山喜房仏書林殿 『梵文妙法蓮華経写本』
- 25 菅野憲道殿 『日興上人』他八冊
- 26 浅草寺殿 『仏教文化講座第35集』二冊他七冊
- 27 大幸財団殿 『生涯教育実践論』
- 28 大学書林殿 『佐藤義人の記念に』
- 29 高根町殿 『高根町史』上・下
- 30 武島達夫殿 『脳と自由意志』

- 31 武田浩而殿 「信玄の妻」
- 32 田中慈妙殿 「仏教僧伽の前提」草山元政和尚の戒律
- 33 多摩大学殿 「大学を創る 多摩大学の二〇〇〇日」
- 34 寺泊町教育委員会殿 「寺泊町史」
- 35 電気事業連合会広報部 「さんすいⅡいま日本のエネルギーを考える」他二冊
- 36 東洋水産株式会社殿 「燃ゆるとき」二冊
- 37 戸田浩暁殿 「安らかな死を考える」
- 38 内閣総理大臣官房広報室殿 「平成3年日本の白書」
- 39 中川泰宏殿 「英智への鍵」
- 40 中條暁存殿 「事にふれ折りにつけて」
- 41 長野県経営者協会殿 「会社年鑑・91」
- 42 日蓮宗海外布教後援会殿 「観心本尊抄・如説修行鈔・顕仏未來記」
- 43 日蓮宗宗務院殿 「日蓮宗宗報」
- 44 日蓮宗新聞社殿 「日蓮聖人―その生涯と教え」他三冊
- 45 日蓮聖人門下連合会殿 「結成三十年記念日蓮聖人門下連合会三十年の歩み」
- 46 日蓮宗布教院院報編集事務局殿 「布教院々報」
- 47 日蓮宗北海道西部教化センター殿 「口語引導文集・芳香集」
- 48 日本視聴覚教材センター殿 「ザ・石油（オイルマンの熱日々）」
- 49 日本神靈学研究会殿 「超神靈」
- 50 萩原是正殿 「深草元政上人追墨展」
- 51 平原要俊殿 「仏法概要 明助法師敬述」
- 52 広瀬鈴子殿 「人間の大地」
- 53 町田是正殿 「久遠のあゆみ」他九〇冊
- 54 松下電器産業株式会社殿 「松下幸之助発言集」1、24
- 55 松本光華殿 「民話風法華経童話（その十五）安養行品第十四」十冊他二十冊
- 56 溝田弘利殿 「21世紀の教育ビジョン」
- 57 身延山久遠寺殿 「加山又造全集」他二冊
- 58 妙覚寺殿 「京都本山妙覚寺史」
- 59 妙頭寺殿 「報恩日像菩薩第六百五十年遠忌御報恩大法要紀要」
- 60 望月海淑殿 「ホノルル妙法寺六十周年記念誌」
- 61 望月幸明殿 「桃李成蹊」
- 62 守屋先生遺稿集刊行委員会殿 「高座説教に生きて―伝統を守り続けた守屋日裕上人」
- 63 モノン株式会社殿 「"Le chocolat par Mariko a Paris"」
- 64 山尾淳篤殿 「日淳上人御法門集」
- 65 山下 茂殿 「はまなし」
- 66 山下清一殿 「法華」合本第一巻他一九六冊
- 67 山梨県教育委員会殿 「増田誠画集」

- 68 山梨県農務部農村整備課 〔土地分類基本調査丹波・三峰五万分の一〕
- 69 山梨県みどりの基金会 〔山梨緑の礎森を育てた人々〕
- 70 山梨県立美術館 〔牛島憲之展〕他五冊
- 71 横田英学殿 〔遠寿院智泉院 両院行僧列名帳照合本〕
- 72 吉田寿一殿 〔正法眼蔵講釈〕第三卷・第四卷
- 73 立正大学殿 〔立正大学同窓会会員名簿〕
- 74 霊友会殿 〔霊友会史〕上巻
- 75 渡辺信勝殿 〔蓮華草〕六・七号

(自平成三年四月一日)至平成四年三月三十一日
 掲載順五十音順)以上

◇図書館たより — その二 —

「一人一冊献本運動」に呼応下さりました方々の中で、年度毎に三十万円相当以上の献本者の方には、その功績に感謝し表彰を行っております。平成三年度の功労者は次の方でありますので御報告申し上げます。

- 1、大森 孝殿 身延町

今後共、広く皆様様方の「一人一冊献本運動」の御協力を切にお願い申し上げます。本学園図書館には、洋書・一般教養・保健体育関係等の本が少ないので、仏教書以外の本も多いに歓迎しております。同じ本が数冊あっても、結構に存じますし、こんな本では必要なかろうという場合でも献本賜わりますれば幸

甚に存じます。

図書館では、同窓生諸兄、有縁関係者、図書館建設資金御寄付者、献本御協力者、研究者等の利用の便を計るために閲覧証(一年間有効)を一階のカウンターにて用意しておりますので御来館の際には館員にどうかお母ね下さい。(桑名貫正)

研究活動報告

(1) 仏教思想学会

第七回学術大会は、平成三年七月六日(土)に、当番校東京大学(東京)の主催で行われた。本学からの発表者とテーマは次の通りである。

ラトナカラジャンティによる三乗解釈 望月海慧

(2) 日本印度学仏教学会

第四十二回学術大会は、七月二十日(土)、二十一日(日)の両日にわたり、当番校仏教大学(京都)の主催で行われた。本学からの発表者とテーマは次の通りである。

Atisa の Sūtrasamuccayasaṃcayārtha

望月海慧

(3) 日本仏教学会

平成三年度学術大会は、十月十九日(土)、二十日(日)の両日にわたり、当番校、大正大学(東京)の主催で行われました。

本学からの発表者とテーマは次の通りである。

唯識説における心と身体について

岩田諦静

(4) 日蓮宗教学研究発表大会

第四十四回学術大会は、十一月十四日(木)、十五日(金)の両日にわたり、日蓮宗宗務院講堂(東京)を会場にして開催された。本学からの発表者とテーマは次の通りである。

身延山と穴山氏

林 是晋

僧院より仏塔信仰へ

高橋 堯昭

日蓮聖人の女人成仏について

桑名 貫正

(5) 日本宗教学会

第五十回学術大会は、十一月二十二日(金)、二十三日(土)、二十四日(日)にわたり、当番校早稲田大学(東京)の主催で行われた。本学からの発表者とテーマは次の通りである。

宗教と福祉 — 仏教における福祉思想 —

渡辺 寛勝

(6) 仏教文化講座

本年度の「仏教文化講座」(公開)は、平成四年二月六日

(木)に、本学図書館五階会議室において開催された。講師は立正大学仏教学部教授久留宮圓秀先生、テーマは「インドの神々」であった。

(7) 学内研究会

本年度の学内研究会の発表者とテーマは次の通りである。

◇ Rainakarasanii の "Prajñāpāramitā-upadeśa" における Nārāyaṇa と Nārāyaṇa 望月海慧

平成三年度 卒業論文一覽

法華経における菩薩の行

七夕和希衛

日蓮聖人の祈禱

飯島啓明

日蓮聖人における不受不施思想

石井見瑞

謗法についての一考察

氏原孝学

小西檀林について

遠藤了暉

法華経一乗思想の研究

長内俊和

不受不施派の祖日興上人の研究

乙部史賢

日蓮聖人における仏陀観

金森稔光

日蓮聖人の念仏批判

川上泰典

宮沢賢治と法華経

小出真也

日蓮聖人における法華経受容の特色

古賀一成

七面山信仰と伝説について

島田知教

八品派の祖日隆上人の研究

日蓮聖人の女性観

日蓮聖人の法華経観

遠寿院についての研究

日蓮聖人の救済観

七面山信仰について

法華経における陀羅尼について

日蓮聖人の唱題成仏の一考察

日向上人の研究

日蓮聖人の神祇観

日蓮聖人の法華経への道

行学院日朝上人の研究

日蓮聖人の時間論

佐渡・塚原での生活について

日興上人の身延離山の研究

日蓮聖人の上行自覚についての一考察

◇同窓会本部だより

身延山短期大学学園同窓会役員会の開催

平成三年度、同窓会役員会が平成三年十一月二十日(金)、身延山短期大学学園を会場として左記の式次第にて盛會裡に行われました。

司会 奥野本洋先生

信	隆	靖	通	杉	山	海	誠	鈴	木	嘉	昭	高	関	雅	仁	高	橋	紀	満	竹	嶋	徳	広	友	永	康	宏	長	崎	一	男	中	山	海	応	則	武	憲	二	早	川	要	清	広	橋	是	晃	松	崎	吉	宏	宮	沢	友	彦	吉	田	憲	由	大	柴	彰	慶
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(1)開会の辞(岩田日成副会長)、(2)玄題三唱(池上要輝顧問平成二―三年に遷化された学友の増円妙道を念じて三唱する)、(3)会長挨拶(小崎龍雄副会長)、(4)理事長挨拶(学園担当理事 刀刀貞如布教部長)、(5)宮崎英修学長挨拶、(6)秋山智孝校長挨拶、(7)議事、(イ)議長選出(谷川寛徳富山支部長が選出される)、(ロ)本部庶務報告(桑名眞正庶務幹事)、(ハ)会計報告(奥野本洋会計幹事)、(ニ)支部報告(各支部長より現況報告がなされた)、(ホ)その他、(8)玄題三唱(中村正彦副会長)、(9)閉会の辞。

尚、当日の議事内容は、次の様な事が討議なされましたので御報告申し上げます。

役員会議事録

〔決定事項〕

- 1、学園同窓会旅費交通規定(別紙の如し)。
 - 2、学園同窓会慶弔・表彰規定(別紙の如し)。ただし、生花代については生花は一本で金額は一五〇〇〇円以内とする。
 - 3、永年役員をなされました役員員の退任者に御慰労の感謝状を贈呈する。
 - 4、事務局費の計上を認める。
- 〔確認事項〕
- 1、同窓会役員員の欠員及び辞任の申出の件について。役員会で下記の方々を推挙し明年の総会に計り申し上げたい。

- ・中屋教海副会長（遷化につき）↓谷川寛徳副会長案。
- ・大石要英副会長（病氣にて辞任願）↓永田寿昶副会長案。
- ・中屋教海石川県支部長（遷化につき）↓出島元学石川県支部長。平山要顯新潟県支部長（遷化につき）↓円山博良新潟県支部長。

- 2、明年、平成四年十月二十九日学園同窓会総会を開催、終了後懇親会を開催。
- 3、会計報告に際し、予算決算上の明確化に工夫を要したいこと。

〔要望事項〕

- 1、同窓会々員の慶弔に於いて退任者、入寺者、遷化等をよく事務局でもっと調べて徹底すること。各支部、並びに役員は支部の慶弔に関して同窓会本部事務局に連絡すること。
- 2、会計内容については、もっと明細にわたり報告すること。
- 3、役員会に当たっては、支部長の止むを得ず欠席の事情もある。事務長、事務局長にも参加できる様に出席の通知を出してもらいたい。その場合、肩書きの明示を明確にしてほしい。そのためにも本部からお願いは各支部長代行、副支部長、事務局長、事務長、会計責任者等の芳名、肩書きを本部に報告してほしい。
- 4、支部総会には祝電を打ってほしい。
- 5、各県管内の同窓生に対して、もっと同窓会支部を結成するよう呼び掛けてほしい。

※新支部結成の報告↓和歌山県支部結成、総会平成三年七月十六日。

以上

（文責 桑名眞正）